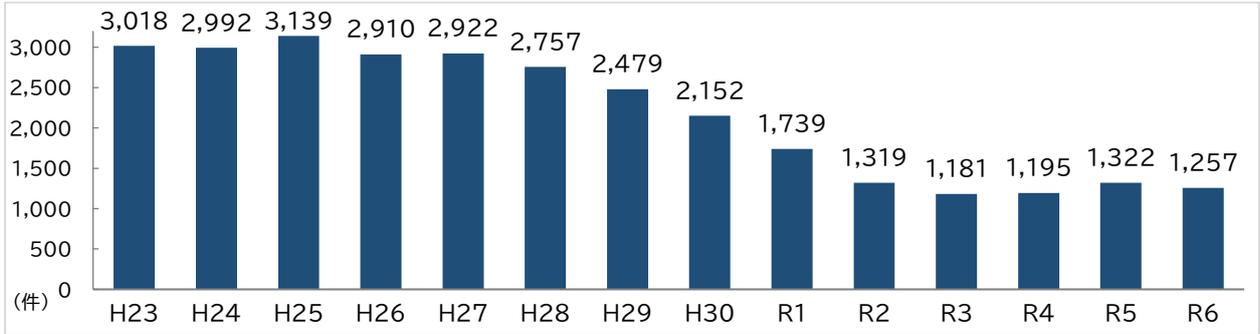


5 交通事故に関する状況 (警察統計)

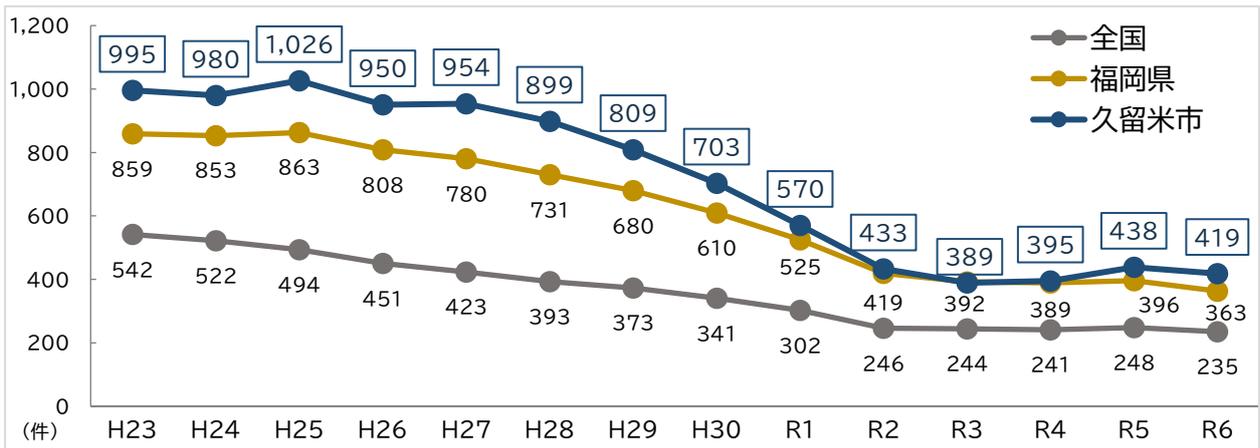
(1) 久留米市の交通事故発生状況

コロナ禍で急減した交通事故発生件数は、直近5年間は大幅な増減はない。 [図 5-1]

■[図 5-1]久留米市の交通事故発生件数の推移



■[図 5-2]人口 10 万人あたりの交通事故発生件数の比較 (久留米市、福岡県、全国)

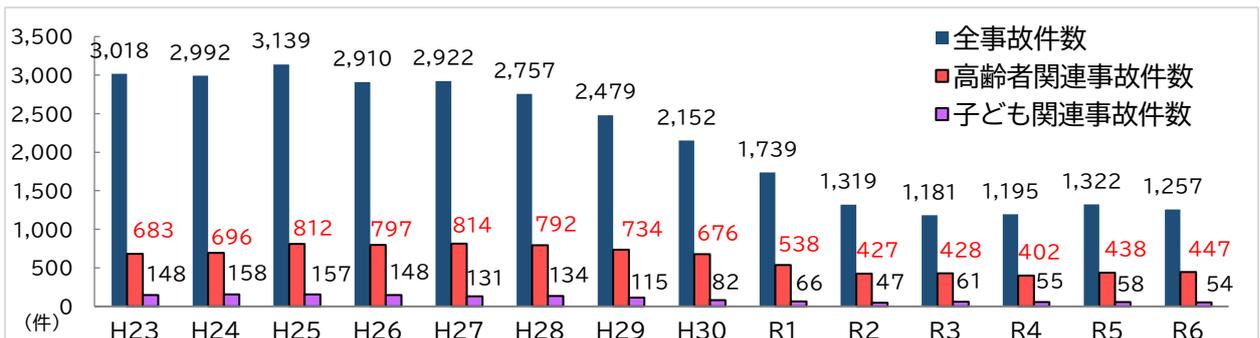


(2) 高齢者関連事故について

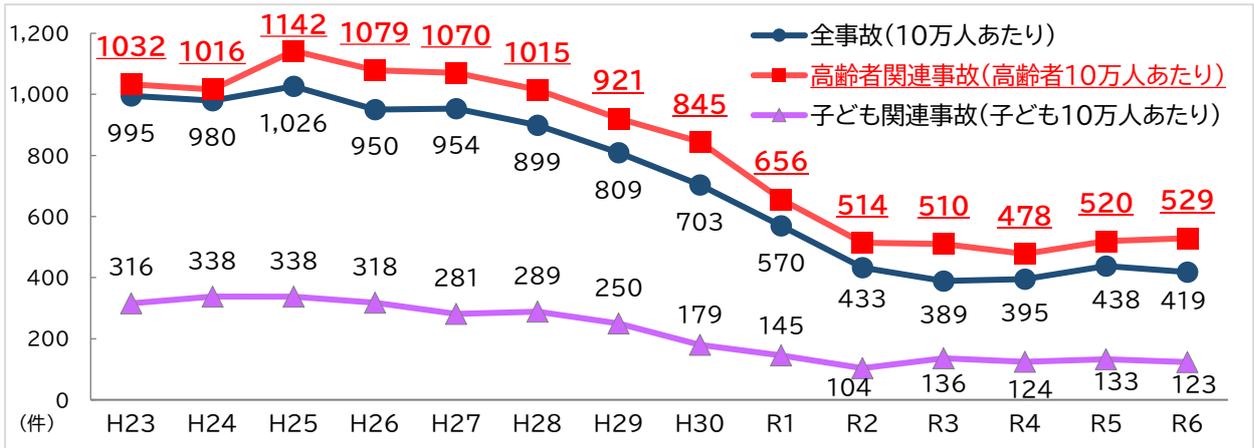
高齢者が関わる交通事故件数は減少傾向にあるが、各年齢層の人口比で見ると 高齢者関連事故件数は、久留米市全体の交通事故発生件数を上回っている。 [図 5-4]

人口 10 万人当たり的高齢者関連交通事故の件数は、福岡県の値を上回っている。 [図 5-5]

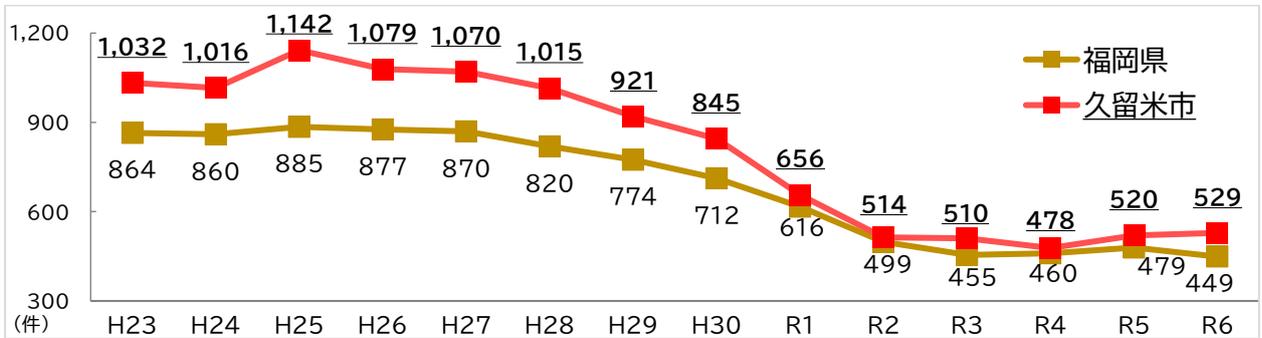
■[図 5-3]年齢層毎の久留米市の交通事故発生件数の推移



■[図 5-4]年齢層毎の人口 10 万人当たりの久留米市の交通事故発生件数の推移



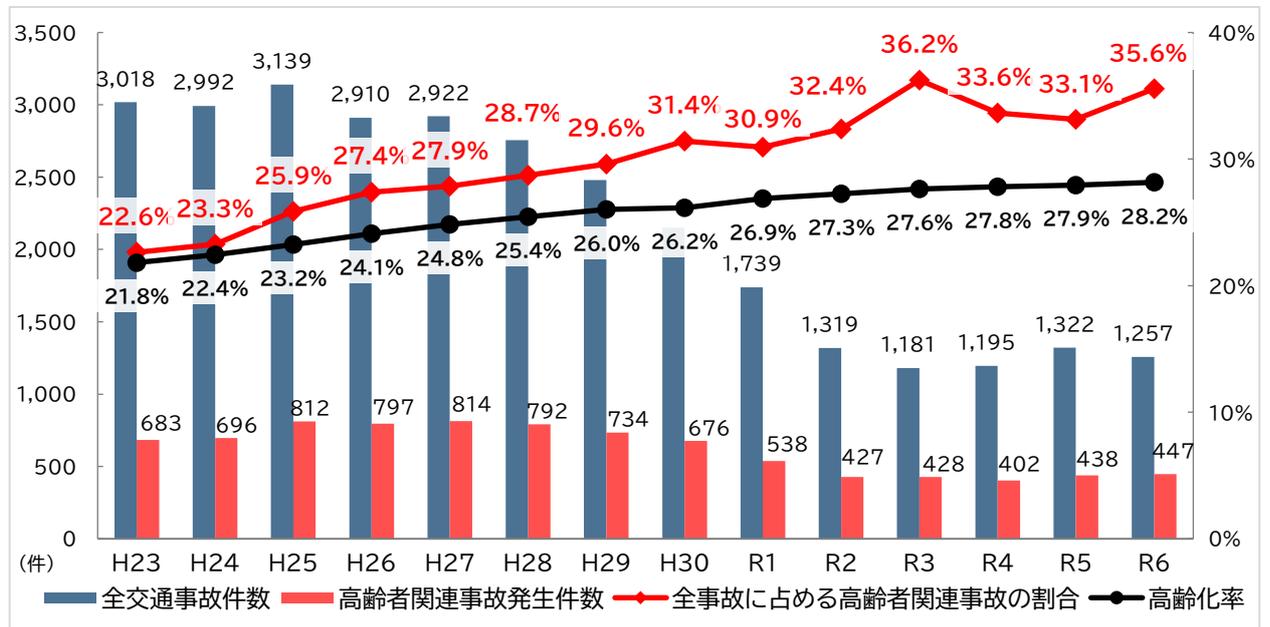
■[図 5-5]高齢者人口 10 万人当たりの高齢者関連事故件数の比較 (久留米市、福岡県)



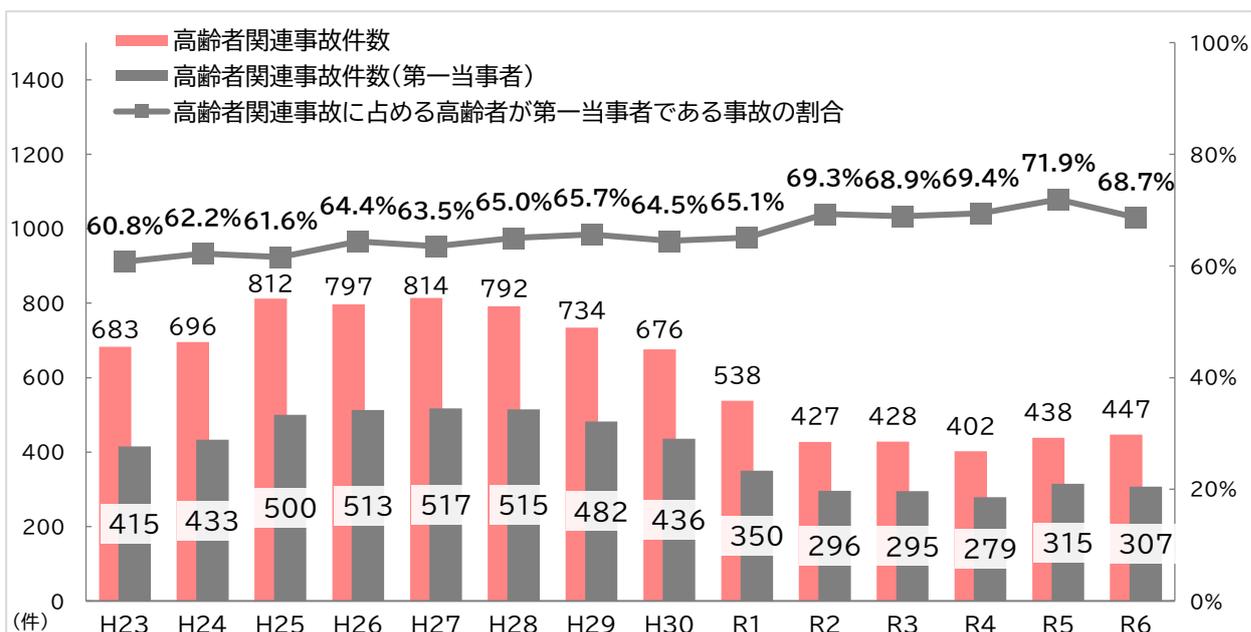
コロナ禍で発生件数は減少していたが、全事故に占める高齢者関連事故の割合はコロナ禍前より増加しており、久留米市の高齢化率を上回っている。[図 5-6]

また、高齢者関連事故に占める高齢者が加害者（第一当事者）となる交通事故の割合は増加傾向にある。[図 5-7]

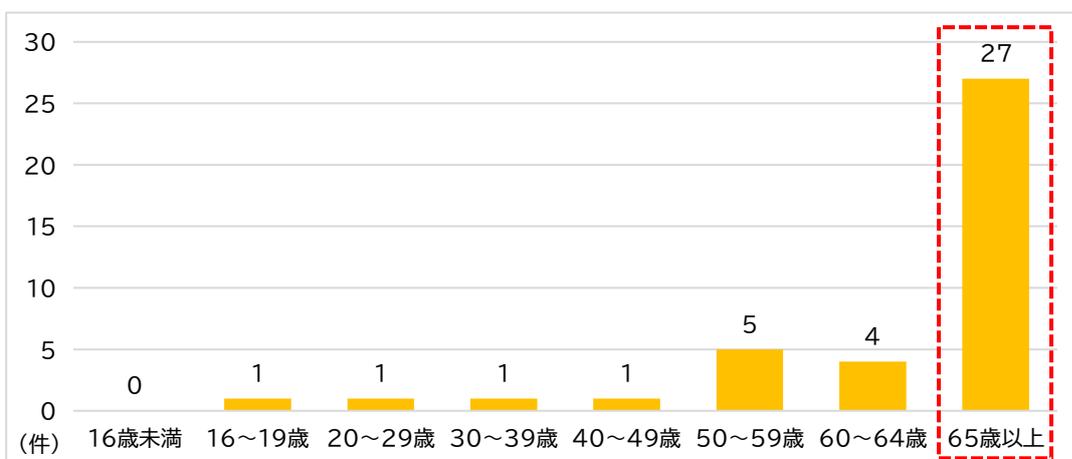
■[図 5-6]高齢者関連事故の発生件数、及び全事故に占める割合



■[図 5-7]高齢者が加害者（第一当事者）の事故の件数、及び高齢者関連事故に占める高齢者が加害者となる事故の割合

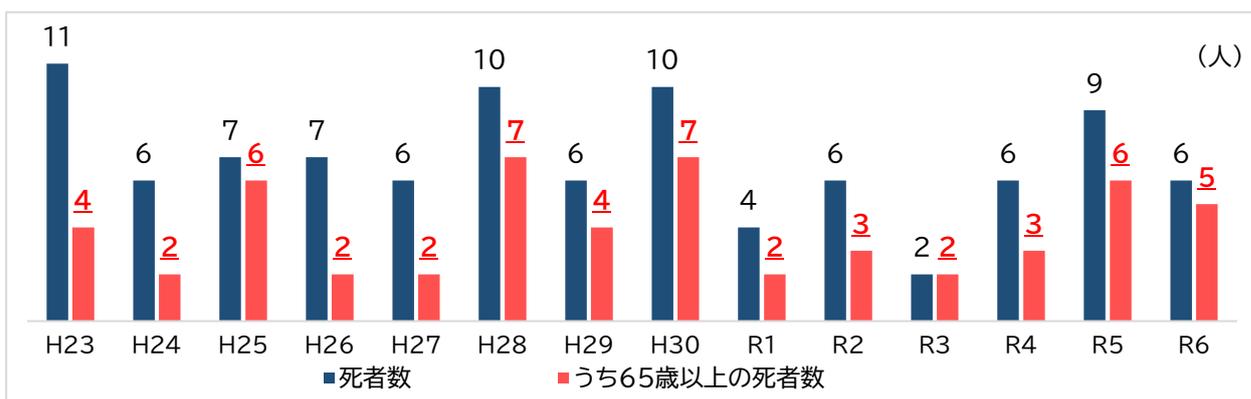


■[図 5-8]福岡県内の歩行者関連交通事故発生状況（R6）

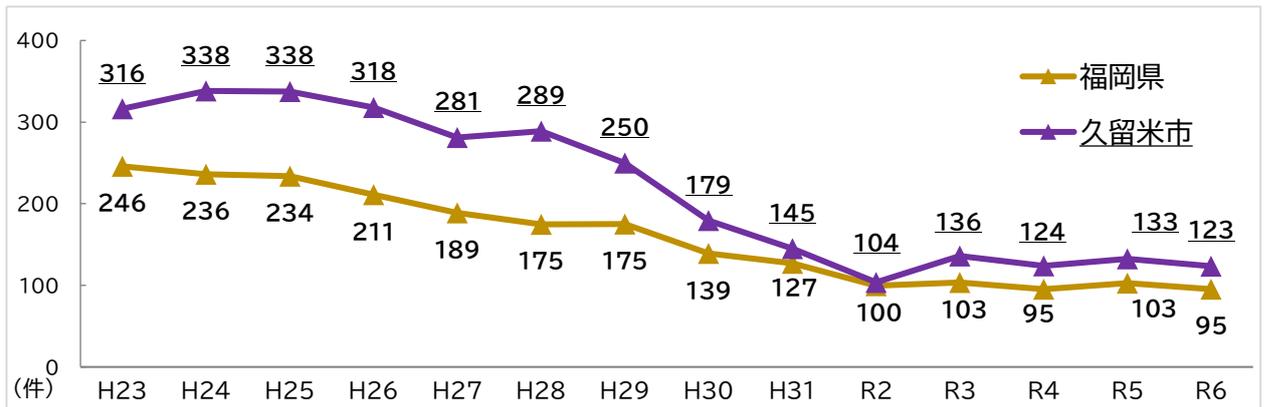


久留米市内の交通事故による死者の半数以上が高齢者である。[図 5-9]

■[図 5-9]久留米市の交通事故による死者数



【参考】[図 5-9]子どもの人口 10 万人当たりの子ども関連の事故発生件数の比較（久留米市、福岡県）

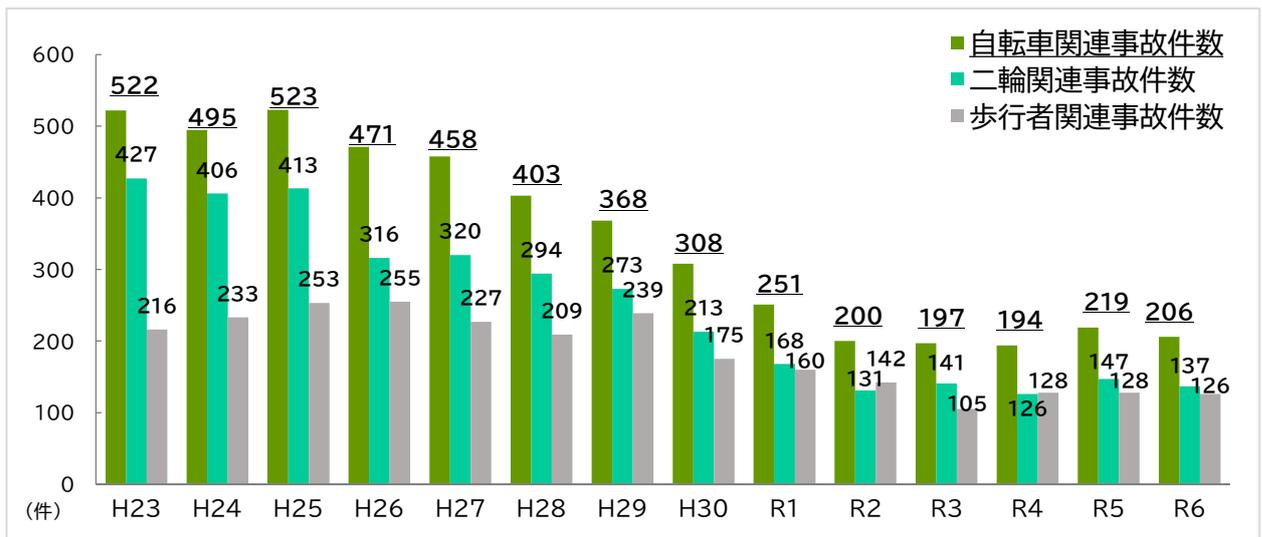


(3) 自転車関連事故について

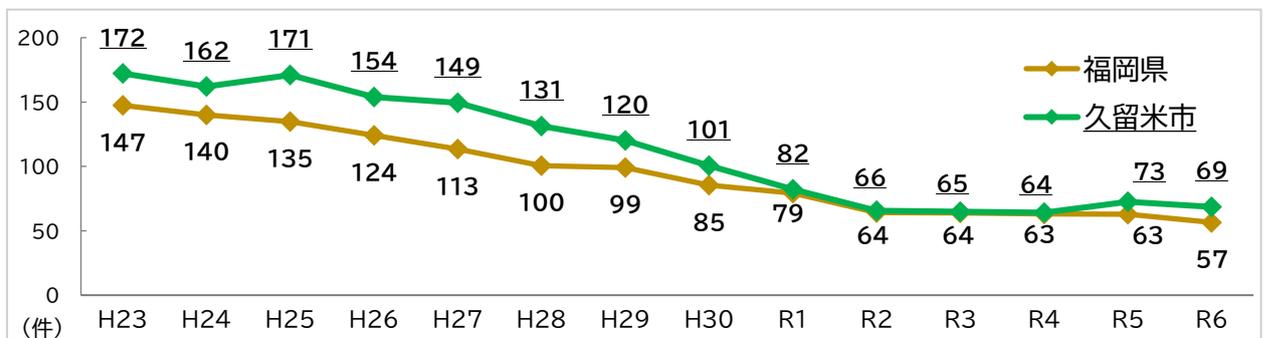
自転車関連事故件数は減少傾向にあったが、令和 5 年は前年より増加した。[図 5-10]

県と同水準だった人口 10 万当たりの自転車事故発生件数についても、令和 5 年には差が拡大した。[図 5-11]

■[図 5-10]久留米市の車両別交通事故発生件数等の推移



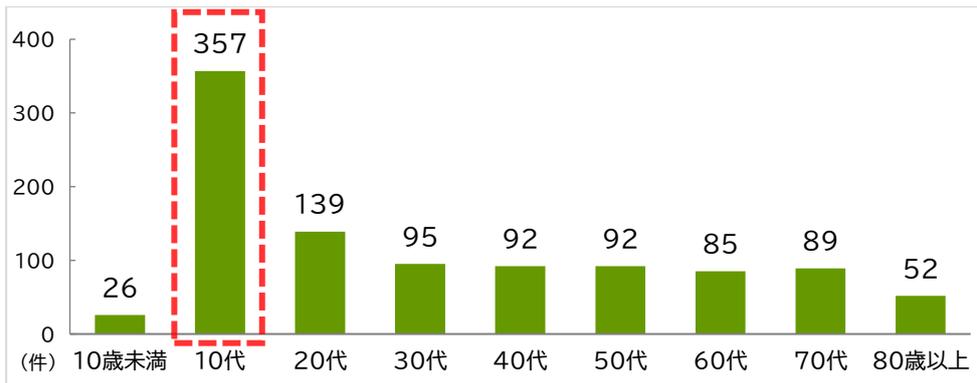
■[図 5-11]人口 10 万人当たりの自転車関連事故発生件数の比較（久留米市、福岡県）



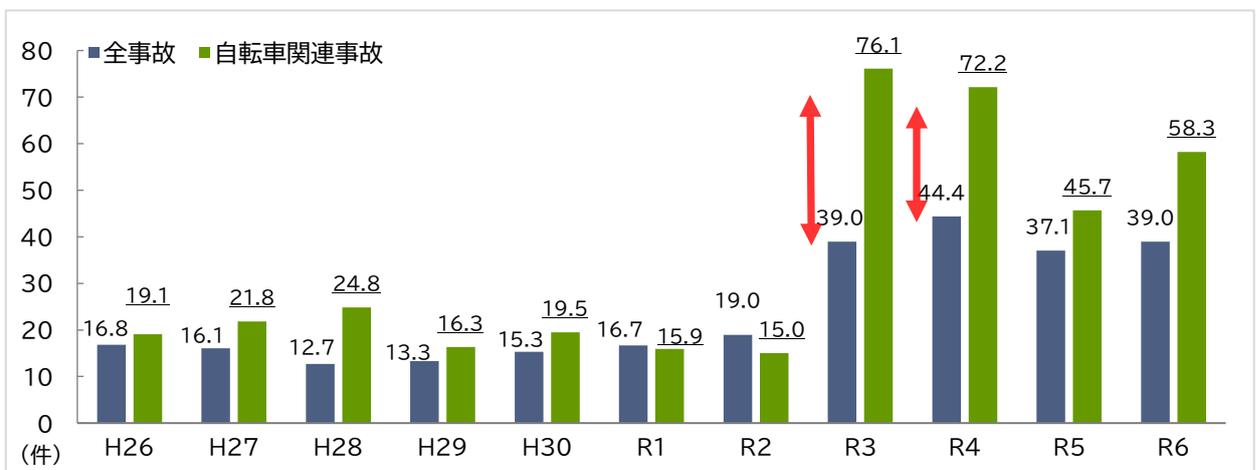
年齢別にみると、自転車関連事故は 10 代の事故件数が突出して多い。[図 5-12]

また、死亡や重傷に繋がる交通事故は、事故全体に比べ自転車関連事故の方が高い状況である。[図 5-13]

■[図 5-12]年齢層毎の自転車関連事故発生件数（R2～R6 年の累計）



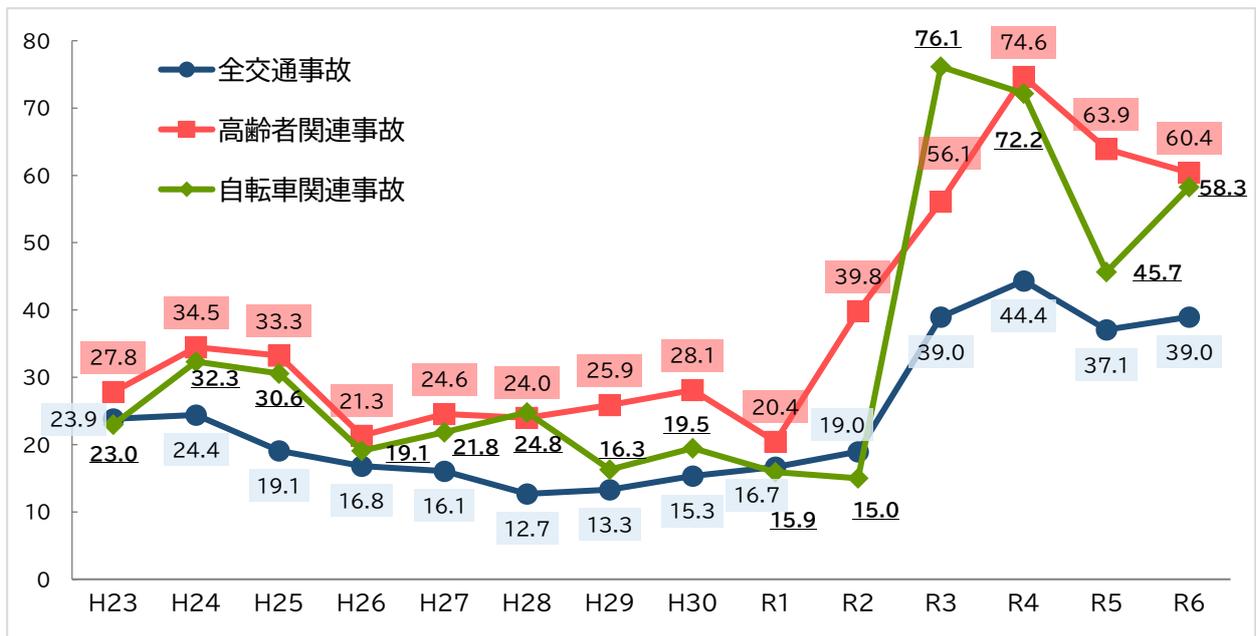
■[図 5-13]事故 1,000 件当たりの死亡事故と重傷事故件数の比較



(4) 近年の事故の傾向

令和3年以降、死亡や重傷となる事故に繋がりがやすくなっている。

■[図 5-14]各事故 1,000 件当たりの死亡事故と重傷事故件数



(4) シニアカー関連事故について

シニアカー関連事故の内容をみると、横断中の事故や対歩行者の事故が起きている。[表 5-15]
久留米市では、令和 4 年と令和 6 年に、横断中の事故が 1 件ずつ発生している。

全国的にみると、電動車いすの重大事故が発生している。[表 5-16]

■[表 5-15] シニアカー関連事故件数

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
福岡県	7	7	14	8	6	未集計
久留米市	—	—	—	1	—	1

■[表 5-16] 消費者庁が発表した電動車いすの重大事故（R5 年、R6 年）

番号	消費者庁 公表日	事故 発生日	発生地	製品名	被害状況	事故内容
1	R6.5.24	R6.4.13	愛媛県	電動車いす (ハンドル形)	死亡 1 名	使用者（80 歳代）が、当該製品とともに水路で発見され、死亡が確認された。
2	R6.5.14	R6.4.25	福岡県	電動車いす (ハンドル形)	死亡 1 名	使用者（70 歳代）が当該製品で走行中、用水路へ転落し、死亡した。
3	R6.4.12	R6.3.24	宮崎県	電動車いす (ハンドル形)	死亡 1 名	使用者（80 歳代）が当該製品を使用中、当該製品ごと田んぼに転落し、死亡した。
4	R6.4.9	R6.2.16	福岡県	電動車いす (ジョイスティック形)	重傷 1 名	使用者（70 歳代）が当該製品を使用中、歩道から外れ、転倒、負傷した。
5	R5.12.28	R5.12.15	東京都	電動車いす (ハンドル形)	重傷 1 名	店舗の駐輪場で当該製品で走行中、駐輪中の自転車に接触後、自転車転倒防止柵に衝突し、転倒、負傷した。
6	R5.10.11	R5.9.22	神奈川県	電動車いす (ハンドル形)	死亡 1 名	当該製品に乗車していた使用者（80 歳代）が、当該製品とともに山道で転倒しているところを発見され、死亡が確認された。
7	R5.8.29	R5.8.4	東京都	電動車いす (ジョイスティック形)	重傷 1 名	当該製品を使用中、駅のホームから転落し、負傷した。
8	R5.7.7	R5.6.18	埼玉県	電動車いす (ハンドル形)	重症 1 名	店舗の駐車場で使用者（70 歳代）が当該製品を使用中、転倒し、負傷した。
9	R5.6.16	R5.5.27	福岡県	電動車いす (ハンドル形)	死亡 1 名	使用者（80 歳代）が当該製品を使用中、川へ転落し、死亡した。
10	R5.6.2	R5.5.27	埼玉県	電動車いす (ハンドル形)	死亡 1 名	使用者（80 歳代）が当該製品を使用中、踏切内で列車にはねられ死亡した。
11	R5.5.19	R5.4.20	京都府	電動車いす (ハンドル形)	死亡 1 名	使用者（80 歳代）が当該製品を使用中、当該製品ごと道に転倒し、病院に搬送後、入院中に死亡した。
12	R5.4.21	R5.4.10	京都府	電動車いす (ハンドル形)	死亡 1 名	使用者（80 歳代）が当該製品を使用中、踏切内で列車にはねられ死亡した。
13	R5.4.4	R5.3.19	山形県	電動車いす (ハンドル形)	死亡 1 名	使用者（90 歳代）が当該製品とともに沢で発見され、死亡が確認された。

※消費者庁・国民生活センター等からの消費生活に関する情報より